

高校世界史プリント（過去問類似）  
中世（諸地域の交流） No.6

名前

得点

/10

問1 4世紀後半に始まった民族移動の波は、ヨーロッパ各地の政治的・民族的勢力図を大きく塗り替えた。この移動の一環として、5世紀半ばにアングル人やサクソン人などのゲルマン諸部族が北海を渡って定住し、先住民を圧迫してのちに七王国（ヘプタキーン）と呼ばれる小国家群を形成した地域はどこか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ブリテン島                      2. コルシカ島                      3. キプロス島                      4. シチリア島

問2 10世紀後半に中国の王朝へ渡って皇帝太宗に謁見し、新版の『大蔵経』などを持ち帰って日本の仏教界に大きな影響を与えた、東大寺出身の僧は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 旃然                              2. 覺阿                              3. 寂照                              4. 成尋

問3 11世紀末に北イタリアに設立され、ローマ法などの研究で知られ、学生が教員の任免権を握るなど学生主導の自治運営が行われた中世ヨーロッパの大学はどこか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. オックスフォード大学                      2. サレルノ大学                      3. パリ大学                      4. ボローニャ大学

問4 唐の都である長安には、東西交易に従事したソグド人などの往来に伴い、様々な外来宗教の寺院が建立された。このうち、3世紀にササン朝で創始され、のちにウイグルの国教ともなった宗教は何か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. ソロアスター教                      2. マズダク教                      3. ミトラ教                      4. マニ教

問5 7世紀から11世紀にかけてスマトラ島南部を中心に栄え、マラッカ海峡などの海上交易ルートを支配した港市国家である。唐の僧である義浄がインドへの往復途上に立ち寄り、大乘仏教が盛んに行われている様子を『南海寄帰内法伝』に記したことで知られる、この国家の名称を答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. シンガサリ王国                      2. マジャパヒト王国                      3. ランサーン王国                      4. シュリーヴィジャヤ王国

問6 16世紀初頭にイラン高原で建国され、オスマン帝国と抗争を繰り広げたサファヴィー朝は、自らの支配の正統性を強化するために、イスラーム教の特定の宗派を国教とした。この王朝が国教として採用し、現代のイランにまで続く国教の基盤となった宗派の名称を答えよ。（2010年 全国公立入試 類似）

1. シーア派                              2. ザイド派                              3. スンニ派                              4. スナ派

問7 モンゴル帝国の第5代大汗が、国号を元と定めた後に建設した、現在の北京の基礎となった首都はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 開封                              2. 大都                              3. 洛陽                              4. 長安

問8 唐代中後期、均田制の崩壊に伴って従来の府兵制が維持できなくなったため、新たに導入された、志願者による傭兵を用いた軍事制度を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 衛所制                              2. 募兵制                              3. 府兵制                              4. 屯田制

問9 13世紀後半のモンゴル帝国（元）の時代に陸路で大都（北京）に達し、フビライ・ハンに仕えたのち、海路で帰国したヴェネツィア出身の商人がいる。彼がジェノヴァの獄中で口述した旅行記には、長江デルタに位置し大運河による交易で繁栄していた蘇州の経済的活況などが生き生きと描かれ、当時のヨーロッパ人の東洋への関心を大いに高めることとなった。この旅行記の口述者である人物は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ラッパーン・サウマ                      2. プラノ・カルピニ                      3. マルコ・ポーロ                      4. モンテ・コルヴィノ

問10 百年戦争期のフランスにおいて、国王シャルル7世が諸侯の私兵徴募を禁止し、王権の強化と絶対王政の基礎を築くために創設した、戦時・平時を問わず維持される国王直属の軍隊を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 傭兵隊                              2. 騎士団                              3. 封建軍                              4. 常備軍

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	<b>答え 1</b> <b>ブリテン島</b>	5世紀半ば、アングル人、サクソン人、ジュート人などのゲルマン人が北海を渡ってブリテン島に定住した。彼らは先住民であるケルト系のブリトン人を圧迫し、ウェールズやスコットランドなどの周辺部に追いやり、島東南部においてのちに七王国（ヘプターキー）と呼ばれる小国家群を形成した。これがのちのイングランドの起源となった。
問2	<b>答え 1</b> <b>高然</b>	平安時代中期の983年、東大寺の僧であった人物が宋（北宋）に渡り、第2代皇帝である太宗に謁見した。彼は宋で刊行されたばかりの『大蔵経』（一切経）や釈迦如来像などを日本に持ち帰り、その後の日本の仏教や文化に多大な影響を与えた。
問3	<b>答え 4</b> <b>ボローニャ大学</b>	北イタリアの都市に設立されたこの大学は、ローマ法をはじめとする法学研究の拠点として栄えた。パリ大学などが教員組合主導であったのに対し、学生組合が主導する自治運営が行われたことが特徴である。
問4	<b>答え 4</b> <b>マニ教</b>	ササン朝ペルシアでマニによって創始されたマニ教は、キリスト教やゾロアスター教、仏教を融合した二元論的な宗教である。ソグド人を通じて東方に伝播し、唐の都である長安に寺院が建立されたほか、モンゴル高原の遊牧民であるウイグルの国教となった。
問5	<b>答え 4</b> <b>シュリーヴィジャヤ王国</b>	スマトラ島南部のパレンバンを中心に成立した港市国家であり、マラッカ海峡の海上交易を支配して繁栄した。大乘仏教が栄え、唐の僧である義浄がインドへの留学の往路と復路に滞在し、現地の仏教の盛況ぶりを記録した。同時期のジャワ島には大乘仏教のボロブドゥールを建設したシャイレンドラ朝が、タイには後にスコータイ朝が、カンボジアにはアンコール=ワットを建設したアンコール朝（クメール王国）が栄えた。
問6	<b>答え 1</b> <b>シーア派</b>	サファヴィー朝の初代君主イスマイル1世は、スンナ派が多数を占めていたイランにおいて、自らの権力を正当化するためにシーア派（特に十二イマーム派）を国教と定めた。これにより、スンナ派を奉ずる隣国のオスマン帝国との宗教的・政治的対立が激化することとなった。
問7	<b>答え 2</b> <b>大都</b>	モンゴル帝国のフビライは、国号を元と改め、現在の北京にあたる場所に新たな首都を建設した。これが大都であり、夏季の避暑地である上都とともに、元朝の二都体制の中核をなした。
問8	<b>答え 2</b> <b>募兵制</b>	均田制の崩壊により、自作農を基盤とする府兵制の維持が困難となったため、唐は志願による傭兵を用いるこの制度を導入した。この制度のもとで節度使が私兵を養うようになり、後の安史の乱や藩鎮の割拠へとつながった。
問9	<b>答え 3</b> <b>マルコ・ポーロ</b>	モンゴル帝国の成立によってユーラシア規模での東西交通路が安全に確保された結果、多くの往来者が現れた。ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元代の中国を訪れてフビライ・ハンに仕え、帰国後にジェノヴァとの戦争で捕虜となった際、獄中でルスティケロに自身の体験を口述した。これが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられ、蘇州をはじめとする中国の都市の繁栄ぶりがヨーロッパに紹介された。
問10	<b>答え 4</b> <b>常備軍</b>	フランス国王シャルル7世は、1439年の王令によって諸侯の軍事力を制限し、国王が直接雇用・維持する常備軍（騎士隊など）を創設した。これにより、封建的な軍事制度から脱却し、王権の強化と絶対王政への道が開かれた。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 中世（諸地域の交流） No.7

名前

得点

/10

**問1** 14世紀半ばの中国では、モンゴル人による支配が揺らぐなか、大運河の改修工事にともなう重労働や、紙幣（交鈔）の乱発によるインフレーションなどを背景に、白蓮教徒を中心とする大規模な農民反乱が発生した。この反乱から台頭した人物がのちに江南を統一して新たな王朝を建国することになるが、この契機となった反乱の名称として最も適切なものを答えよ。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 赤眉の乱                      2. 紅巾の乱                      3. 黄巾の乱                      4. 黄巢の乱

**問2** アッパース朝の衰退期にブワイフ朝で創始され、のちにセルジューク朝などで整備された、軍人に対して俸給の代わりに一定地域の徴税権を授与し、軍役の義務を課した制度は何か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. マンスブ制                      2. ジャギール制                      3. ティマール制                      4. イクター制

**問3** 12世紀に独自の文字である女真文字を作成し、宋（北宋）を滅ぼして中国北部を支配した王朝の建国者は誰か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 完顔阿骨打                      2. 慕容吐谷渾                      3. 耶律阿保機                      4. 骨力裴羅

**問4** 10世紀前半にフランス東部に創設され、聖職売買や聖職者の妻帯などを否定して、厳格なベネディクトゥス会則への回帰を唱えた。のちに教皇グレゴリウス7世による教会改革の思想的基盤ともなった、この運動の中心となった修道院はどこか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. クリュニー修道院                      2. シトー修道院                      3. モンテ＝カシノ修道院                      4. クラルヴォー修道院

**問5** 11～12世紀の西ヨーロッパでは、農業技術の改良が進み、農業生産力が著しく向上した。この時期、耕地を3つに区分して、それぞれに春播き（大麦や燕麦など）、秋播き（小麦やライ麦など）、そして地力を回復させるための休耕を順次交代で行う輪作法が普及した。重量有輪犁の使用や共同耕作とも結びつき、村落共同体の形成を促したこの耕作システムを何と呼ぶか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 有輪犁                      2. 二圃制                      3. 三圃制                      4. 重量犁

**問6** ユーラシア大陸の内陸部に広がる乾燥地帯において、湧水地などを中心に発達し、中国と西方を結ぶ東西貿易の拠点となった都市の総称を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. アステカ都市                      2. バロック都市                      3. オアシス都市                      4. ギリシア都市

**問7** 北宋の初代皇帝である趙匡胤（太祖）は、五代の武人政治の弊害を排して文官を優遇する文治主義を推進した。この方針のもと、従来の官吏登用試験の最終段階として、皇帝自らが受験者を面接・選考する新たな試験が導入された。皇帝と官僚の直接的な主従関係を強め、皇帝独裁体制を確立する契機となったこの制度を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 科挙                      2. 殿試                      3. 会試                      4. 郷試

**問8** 唐で確立され、周辺の日本や朝鮮半島の諸国家にも受容されて、東アジアにおける中央集権的な国家体制の基礎となった、刑法や行政法などの法典に基づく統治制度を何というか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 郡県制                      2. 律令制                      3. 府兵制                      4. 均田制

**問9** 唐の太宗の時代に国禁を犯して陸路でインドへ渡り、ヴァルダナ朝の王の保護を受けながらナーランダール僧院で仏教を学び、帰国後に『大唐西域記』を著した僧は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 法顕                      2. 慧遠                      3. 玄奘                      4. 義浄

**問10** 5世紀半ば以降、アングル人やサクソン人、ジュート人などのゲルマン諸部族が北海を渡って侵入し、のちに七王国（ヘプタキーン）を形成した、かつてローマ帝国の属州であった地域の呼称を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ブリタニア                      2. ゲルマニア                      3. ヒスパニア                      4. マケドニア

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 2 紅巾の乱	元の末期、政治の混乱や自然災害、交鈔の乱発による物価高騰などを背景に、白蓮教を信仰する人々を中心とした大規模な農民反乱が発生した。この反乱は目印として赤い布を頭に巻いたことからその名で呼ばれる。この反乱の中から頭角を現した朱元璋（洪武帝）が、1368年に明を建国し、元を北方に退けて中国を再統一した。
問2	答え 4 イクター制	アッバース朝の財政悪化に伴い、従来の俸給（アター）の支払いが困難になったため、ブワイフ朝において軍人に土地の徴税権を与える制度が導入された。これがセルジューク朝の宰相ニザーム・アルムルクによってさらに整備され、イスラーム世界の代表的な土地制度となった。奴隷を用いた大規模な農場経営（ラティフンディアなど）とは性質が異なる。
問3	答え 1 完顔阿骨打	女真族の完顔阿骨打は、1115年に金を建国した。金は宋（北宋）と同盟して遼を滅ぼし、さらに宋を南方に追いやって中国北部を支配した。この過程で、独自の言語を表記するために女真文字が作成された。
問4	答え 1 クリュニー修道院	910年にアキテーヌ公によってフランス東部に創設されたこの修道院は、教皇直属とされ、世俗権力からの自由を掲げて厳格な規律を重んじた。この改革運動はヨーロッパ各地の修道院に広がり、11世紀の教皇グレゴリウス7世による聖職叙任権闘争や教会改革運動に大きな影響を与えた。
問5	答え 3 三圃制	11～12世紀の西ヨーロッパでは、農業上の大開墾運動が進むとともに技術革新が見られた。耕地を春耕地・秋耕地・休耕地の3つに分け、3年で一巡させるこのシステムは、従来の二圃制に比べて土地の利用効率を高め、生産力を飛躍的に向上させた。また、重量有輪犁を引くための牛馬の共同利用などが必要であったため、農民たちの共同作業を促し、村落共同体の結合を強める要因となった。
問6	答え 3 オアシス都市	ユーラシア内陸部の乾燥地帯では、湧水地（オアシス）を中心に人々が定住し、農業や交易を行う都市が形成された。これらの都市は、中国と西方を結ぶ東西貿易（オアシスの道）の重要な中継地として繁栄した。
問7	答え 2 殿試	北宋の太祖は、軍人（節度使）の権力を削ぐために文治主義を採用した。その一環として、隋代に始まった官吏登用試験である科挙の最終段階に、皇帝自身が直接面接・選考を行うこの制度を創始した。これにより、合格者は「皇帝によって直接選ばれた」という強い恩顧の意識を持つようになり、皇帝への忠誠心が高まって皇帝独裁体制の強化につながった。
問8	答え 2 律令制	唐代に整備された律令制度は、周辺諸国に大きな影響を与えた。日本や朝鮮半島の諸国は、この制度を模倣・受容することで、中央集権的な国家体制の構築を目指した。これにより、東アジア全体に共通する政治的・文化的指標が形成された。
問9	答え 3 玄奘	唐の時代にインドへ渡り、ヴァルダナ朝のハリシャ＝ヴァルダナ王の治世下にナーランダール僧院で学んだ僧は玄奘である。彼は帰国後、持ち帰った經典の漢訳に努めるとともに、旅行記である『大唐西域記』を著した。義浄は海路でインドを訪れた唐の僧であり、法顕は東晋の僧である。
問10	答え 1 ブリタニア	ローマ帝国の属州であったブリタニア（現在のグレートブリテン島南部）からは、5世紀初頭にローマ軍団が撤退した。その後、アングル人、サクソン人、ジュート人などのゲルマン諸部族が侵入し、定住して七王国を形成した。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 中世（諸地域の交流） No.8

名前

得点

/11

問1 2世紀末、インドシナ半島東部のベトナム中南部にオーストロネシア系のチャム人によって建国され、中国の史書において「林邑」や「占城」などと記された、海上交易で栄えたヒンドゥー教主体の国家は何か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. スコータイ                      2. チャンパー                      3. アンコール                      4. ランサーン

問2 中世ヨーロッパにおいて、イングランドから原料となる羊毛を輸入し、毛織物生産を大きく発展させて繁栄した、ガン（ヘント）やブリュージュ（ブルッヘ）などの都市が位置した地域はどこか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. フランドル地方                      2. バイエレン地方                      3. サヴォイア地方                      4. トスカーナ地方

問3 モンゴル帝国の拡大にともない、フラグが西アジア遠征を行ってアッバース朝を滅ぼした後に、イランやイラクを中心とする地域に樹立した国は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. オゴデイ=ハン国                      2. チャガタイ=ハン国                      3. イル=ハン国                      4. キプチャク=ハン国

問4 第二次世界大戦後の1947年、イギリス領インド帝国が独立する際、多数派のヒンドゥー教徒との対立から、イスラーム教徒が多数を占める地域が分離して建国した国家はどこか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. スリランカ                      2. マレーシア                      3. パキスタン                      4. フィリピン

問5 15世紀にマレー半島南部に成立したある港市国家は、中継貿易で繁栄する中で国王がイスラームを受容し、東南アジアにおけるイスラーム化の拠点となった。16世紀初頭にポルトガルによって征服された、この国家の名称を答えよ。（2024年 全国公立入試 類似）

1. クメール王国                      2. マタラム王国                      3. アユタヤ王国                      4. マラッカ王国

問6 11～12世紀以降の中世ヨーロッパの都市において、市政を独占する商人ギルドに対し、手工業の親方たちが市政への参政権を求めて闘争を展開した。この闘争の主体となった、手工業の親方たちによって結成された職業別の同業者組合を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. ツunft                      2. 商人ギルド                      3. 手工業ギルド                      4. 同職ギルド

問7 イスラーム教の宗派のうち、預言者ムハンマドの従弟である第4代正統カリフのアリーとその子孫のみを正統な指導者（イマーム）と認める宗派を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. スンナ派                      2. スンニ派                      3. シーア派                      4. ザイド派

問8 モンゴル帝国の第5代ハーンであり、都を大都に移して国号を元と定め、1279年に江南の王朝を滅ぼして中国全土を支配した人物は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. カイドゥ=ハン                      2. チンギス=ハン                      3. オゴタイ=ハン                      4. フビライ=ハン

問9 唐代中後期、均田制の崩壊に伴って従来の府兵制が維持できなくなったため、新たに導入された、志願者による傭兵を用いた軍事制度を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 衛所制                      2. 募兵制                      3. 府兵制                      4. 屯田制

問10 8世紀末から活発な海上進出を行い、ヨーロッパ各地に侵入・定住した人々は、大西洋を渡ってアイスランド、さらには北アメリカ東岸にまで到達した。彼らがアイスランドからさらに西へ進出して植民活動を行い、北アメリカへの足がかりとした島はどこか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. イングランド                      2. ノルマンディー                      3. アイスランド                      4. グリーンランド

問11 中世イタリアのフィレンツェにおいて、教皇派（ゲルフ）と皇帝派（ギベリン）の対立、および教皇派内部の分裂抗争に巻き込まれて市政から追放され、その亡命生活の中で叙事詩『神曲』を執筆したトスカーナ地方出身の詩人は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. マキャヴェリ                      2. ペトラルカ                      3. ダンテ                      4. ボッカチオ

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 2 チャンパー	2世紀末にベトナム中南部にチャム人によって建国されたこの国家は、海上交易の要衝に位置し、インド文化の影響を強く受けてヒンドゥー教を信仰した。中国の史書では時代によって「林邑」「環王」「占城」などと称され、宋代に中国へもたらされた占城稻（早稲の品種）の由来としても知られる。
問2	答え 1 フランドル地方	中世のフランドル地方（現在のベルギー・フランス北部・オランダにまたがる地域）の諸都市は、イングランドから羊毛を輸入して毛織物工業を活性化させ、北海・バルト海交易圏や地中海交易圏を結ぶ商業の中心地として繁栄した。この地域をめぐる争奪は、のちの百年戦争の背景の一つにもなった。
問3	答え 3 イル=ハン国	モンゴル帝国の第4代モンケ・ハンの命を受けたフラグは、西アジア遠征を行い、1258年にアッバース朝を滅ぼした。その後、フラグはイラン・イラク地方を支配するイル=ハン国を建国した。ロシア方面を支配したキプチャク=ハン国などと区別する必要がある。
問4	答え 3 パキスタン	イギリス領インドの独立に際して、ヒンドゥー教徒が主導する国民会議派と、イスラーム教徒の利益を代表する全インド・ムスリム連盟との対立が激化した。その結果、1947年にヒンドゥー教徒主体のインドと、イスラーム教徒主体のパキスタンに分離して独立することとなった。
問5	答え 4 マラッカ王国	マレー半島南部に位置するマラッカは、東西交易の中継地として繁栄した。15世紀に成立したこの国家は、ムスリム商人との結びつきを強める中で国王がイスラームに改宗し、東南アジアにおけるイスラーム受容・布教の中心地となった。その後、1511年にポルトガルによって占領された。南宋の艦隊派遣やスペインによる占領といった記述は誤りである。
問6	答え 4 同職ギルド	中世ヨーロッパの都市では、当初は商人ギルドが市政を支配していたが、13～14世紀になると手工業の親方たちが市政への参政権を求めて「ツunft闘争（同職ギルド闘争）」を起こし、市政への参画を果たした。この同業者組合は、手工業の親方のみが正式な組合員であり、徒弟や職人は排除されていた。
問7	答え 3 シーア派	預言者ムハンマドの死後、指導者（カリフ）の選出をめぐる対立が生じた。第4代正統カリフであるアリーとその血統のみを正統な指導者（イマーム）とみなす人々によって形成されたのがシーア派である。これに対し、代々のカリフの正統性を認め、共同体の合意や慣行（スンナ）を重視する多数派はスンナ派と呼ばれる。
問8	答え 4 フビライ=ハン	モンゴル帝国の第5代ハンであるフビライ=ハンは、都をカラコルムから大都（現在の北京）に移し、国号を元と定めた。その後、南宋への攻撃を本格化させ、1279年の崖山の戦いでこれを完全に滅ぼして中国全土の統一を完成させた。
問9	答え 2 募兵制	均田制の崩壊により、自作農を基盤とする府兵制の維持が困難となったため、唐は志願による傭兵を用いるこの制度を導入した。この制度のもとで節度使が私兵を養うようになり、後の安史の乱や藩鎮の割拠へとつながった。
問10	答え 4 グリーンランド	スカンディナヴィア周辺を原住地とするノルマン人は、優れた航海術を用いて大西洋を西へと渡った。彼らはアイスランドを経て、さらに西にあるグリーンランドに到達して植民地を築き、そこから北アメリカ東岸（ヴィンランド）にまで達した。
問11	答え 3 ダンテ	中世イタリアのフィレンツェでは、教皇派（ゲルフ）と皇帝派（ギベルン）の抗争が激しく行われていた。教皇派が勝利したのち、教皇派はさらに白党と黒党に分裂して対立した。白党に属して市政で活躍していたダンテは、黒党が政権を握ったことでフィレンツェを追放され、亡命生活を送る中でトスカナ語による大叙事詩『神曲』を著した。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 中世（諸地域の交流） No.9

名前

得点

/11

**問1** 中国を再統一した隋の第2代皇帝である煬帝は、大規模な土木事業を進める一方で、東方の勢力に対して3度にわたる大規模な軍事遠征を強行した。この遠征の失敗と重税は各地で反乱を引き起こし、隋が短命で滅亡する決定的な要因となった。煬帝が遠征の対象とした、当時の朝鮮半島北部に位置した国はどこか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 高麗                                      2. 新羅                                      3. 高句麗                                      4. 百濟

**問2** 百年戦争のさなかにジャンヌ＝ダルクの活躍によってランスで戴冠式を行い、のちに諸侯の私兵徴募を禁じて国王直属の軍隊を創設するなど、フランスにおける中央集権化を進めた国王は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. フィリップ4世                                      2. フィリップ6世                                      3. シャルル8世                                      4. シャルル7世

**問3** 14世紀には、気候の寒冷化やペストの流行といった「14世紀の危機」が発生し、それまでユーラシア規模での東西交流を支えていた広域交通網が機能不全に陥った。この交通網の基盤となった、モンゴル帝国において公用の使者に馬や食料を提供するために整備された駅伝制を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ダルガチ                                      2. バスカク                                      3. ジャサク                                      4. ジャムチ

**問4** 3世紀前半にパルティアを倒して建国され、クシャーナ朝を圧迫してインダス川付近まで領土を広げたが、7世紀半ばに新興のイスラーム勢力との戦いに敗れて事実上崩壊したイランの王朝は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. サファヴィー朝                                      2. セルジューク朝                                      3. アケメネス朝ペルシア                                      4. ササン朝ペルシア

**問5** モンゴル帝国において、チンギス＝ハンの即位や、歴代のハンの選出、遠征計画などの重要事項を決定するために、モンゴル諸王や有力部族長が集まって開かれた最高意思決定機関を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ケシクテン                                      2. クリルタイ                                      3. ダルガチ                                      4. ピチクチ

**問6** 東フランク王国の国王で、東方から侵入したマジャール人をレヒフェルトの戦いで撃退した功績などにより、962年にローマ教皇から帝冠を授けられて神聖ローマ帝国の実質的な創始者となった人物は誰か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. ロタール3世                                      2. ルドルフ1世                                      3. オットー1世                                      4. フランツ2世

**問7** 唐の都である長安が、朱雀大路を軸とした対称的で厳格な坊市制の都市計画に基づいていたのに対し、北宋の都となった都市は、黄河と大運河が交わる交通の要衝に位置し、水上交通を利用した物資の集散地として繁栄した。従来の城郭都市の枠を超えて商業活動が大きく発展し、夜市なども行われたこの都市はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 臨安                                      2. 長安                                      3. 洛陽                                      4. 開封

**問8** 中世ヨーロッパにおいて、アドリア海の最奥部に位置し、ビザンツ帝国やイスラーム世界との東方貿易を主導して香辛料などの取引で繁栄した、共和政の港湾都市はどこか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. ヴェネツィア                                      2. アマルフィ                                      3. フィレンツェ                                      4. ジェノヴァ

**問9** 中世ヨーロッパのサレルノ大学などで医学の標準的な教科書として用いられ、ラテン語訳されてヨーロッパの医学界に多大な影響を与えた『医学典範』を著した、イラン出身のイスラーム科学者は誰か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. イブン＝シーナー                                      2. イブン＝ルシュド                                      3. イブン＝ハルドゥーン                                      4. イブン＝バトゥータ

**問10** 14世紀半ば、百年戦争による国土の荒廃やペスト（黒死病）の流行、さらに領主による圧迫に対して、フランス北部の農民たちが起こした大規模な反乱は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. ジョンボールの乱                                      2. ジャックリーの乱                                      3. ドルチーノの乱                                      4. ワットタイラーの乱

**問11** 唐の存続期間（618年～907年）には、ユーラシア各地で様々な国家の興亡や衝突が見られた。このうち、西方におけるウマイヤ朝の成立（661年）より後、東スラヴ人の地域にキエフ公国が建国される（9世紀後半）より前の時期に、中央アジアの領有をめぐる唐がアッバース朝と衝突した戦いは何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. タラス河畔の戦い                                      2. カルカ河畔の戦い                                      3. レグニツァの戦い                                      4. プアティエの戦い

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 高句麗	隋の煬帝は、大運河の建設などの大土木事業を行うとともに、朝鮮半島の高句麗に対して3回にわたる遠征を行った。しかし、いずれも失敗に終わり、多大な軍事費と労役負担に苦しんだ民衆や兵士の間で反乱が頻発した。これが隋の滅亡を早める直接的な原因となった。
問2	答え 4 シャルル7世	百年戦争中にジャンヌ＝ダルクの支援を得て戴冠したフランス国王はシャルル7世である。彼は1439年の王令により、諸侯が勝手に兵を募ることや課税することを禁止し、国王直属の常備軍を創設して王権の強化と中央集権化を推し進めた。なお、初めて三部会を招集したのは14世紀初頭のフィリップ4世である。
問3	答え 4 ジャムチ	モンゴル帝国は、広大な領土を統治し東西交易を活性化させるため、主要幹線道路に一定間隔で駅(チ)を置き、公用の使者に馬や食料、宿泊施設を提供する駅伝制(ジャムチ)を整備した。しかし、14世紀に入ると、気候の寒冷化やペスト(黒死病)の流行、帝国の分裂などの混乱(14世紀の危機)によってこの制度は機能不全に陥り、ユーラシア規模の交通網は分断されることとなった。
問4	答え 4 ササン朝ペルシア	ササン朝ペルシアは、アルダシール1世がパルティアを倒して建国した。シャープール1世の時代にはクシャーナ朝を破って東方の最大領域をインダス川付近まで広げ、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜とした。しかし、7世紀半ばに二ハーヴァンドの戦いでイスラーム勢力(アラブ軍)に敗北し、滅亡へと向かった。
問5	答え 2 クリルタイ	モンゴル帝国では、ハンの選出や軍事遠征などの国家の重大事項を決定するために、一族の諸王や有力部族長が集まる最高意思決定機関が開催された。これをクリルタイと呼ぶ。第4代モンケ・ハンの死後には、この会議の合意を経ずにフビライが独自にハン位に就いたことで、帝国の一体性が揺らぐ契機となった。
問6	答え 3 オットー1世	東フランク王国のオットー1世は、マジャール人の侵入を撃退した功績などにより、962年にローマ教皇ヨハネス12世から帝冠を授けられた。これにより神聖ローマ帝国が事実上成立した。フランク王国の歴史においては、5世紀末のクローヴィスによるアタナシウス派への改宗、8世紀半ばのピピンによるカロリング朝の創始に続く、中世西ヨーロッパ世界の形成における重要な画期となった。
問7	答え 4 開封	唐の長安が政治的・計画的な都市であったのに対し、北宋の都である開封は、大運河と黄河を結ぶ水路交通の要衝に位置する商業都市として発展した。開封では、唐代までの坊市制(居住区と商業区を明確に分け、夜間の通行を禁じる制度)が崩壊し、自由な商業活動や夜間営業(夜市)が行われるなど、都市のあり方が大きく変化した。
問8	答え 1 ヴェネツィア	中世の地中海商業圏において、イタリア半島東側のアドリア海に面したこの港湾都市は、東地中海を経由する東方貿易(レヴァント貿易)の主導権を握った。ビザンツ帝国やイスラーム勢力と交易を行い、アジアから運ばれてきた香辛料や絹織物をヨーロッパ各地に供給することで莫大な富を蓄え、共和政のもとで繁栄を極めた。
問9	答え 1 イブン＝シーナー	イラン出身の医学者・哲学者であるイブン＝シーナー(ラテン名アヴィケンナ)は、ギリシア医学の成果とイスラーム世界での臨床経験を統合して『医学典範』を著した。この著作は12世紀以降にラテン語に翻訳され、中世から近世初期にかけてのヨーロッパの大学で医学の基本文献として重用された。
問10	答え 2 ジャックリーの乱	14世紀のフランスでは、百年戦争にともなう戦乱やペストの流行による人口減少、それに伴う領土の搾取強化(封建反動)に対する不満が高まっていた。1358年、フランス北部の農民たちが「ジャック(農民の蔑称)」を名乗って大規模な蜂起を起こした。この反乱は短期間で鎮圧されたが、中世封建社会の動揺を示す象徴的な事件となった。
問11	答え 1 タラス河畔の戦い	唐の存続期間(618年～907年)における出来事の年代順を整理すると、ウマイヤ朝の成立は661年、キエフ公国の建国は9世紀後半(882年頃)である。この中間に位置する751年に、唐の將軍高仙芝率いる軍隊とアッバース朝の軍隊が中央アジアのタラス河畔で衝突した。この戦いにより、唐の捕虜から製紙法がイスラーム世界に伝播することとなった。



## 答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 4 同職ギルド	中世ヨーロッパの都市では、当初は商人ギルドが市政を支配していたが、13～14世紀になると手工業の親方たちが市政への参政権を求めて「ツunft闘争（同職ギルド闘争）」を起こし、市政への参画を果たした。この同業者組合は、手工業の親方のみが正式な組合員であり、徒弟や職人は排除されていた。
問2	答え 4 第4回十字軍	ローマ教皇インノケンティウス3世の呼びかけで結成された第4回十字軍は、輸送を請け負ったヴェネツィアの意図に引きずられ、エジプトに向かわずにビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを攻撃・占領した。この結果、ビザンツ帝国は一時亡命政権となり、占領地にはラテン帝国が建てられた。
問3	答え 3 三圃制	11世紀以降の中世ヨーロッパでは、農業生産力の向上が社会の活性化を支えた。従来の二圃制に代わり、耕地を春耕地・秋耕地・休耕地に三分して3年で一巡させる農法が普及したことで、休耕地の割合が減少し、食料生産が大幅に増加した。これが人口増加や都市の再興、商業の活発化へとつながった。
問4	答え 3 エドワード3世	フランスでカペー朝が断絶し、フィリップ6世が即位してヴァロワ朝が始まると、イギリス国王エドワード3世は自らの母がカペー家出身であることを理由にフランス王位継承権を主張した。これが、フランドル地方の支配権をめぐる対立などと相まって、百年戦争の勃発につながった。ノルマン朝を創始したウィリアム1世がこの戦争を始めたとする解釈は誤りである。
問5	答え 4 アルビジョワ十字軍	南フランスで普及したキリスト教の異端カタリ派（アルビジョワ派）を制圧するため、13世紀初頭に教皇インノケンティウス3世の提唱で組織された。この軍事行動を通じて、それまで自立的だった南フランスの諸侯領がフランス王権に統合される契機となった。
問6	答え 1 インノケンティウス3世	13世紀初頭に在位したこの教皇の時代に、ローマ教皇権は絶頂に達した。彼はイギリス王ジョンやフランス王フィリップ2世を屈服させ、第4回十字軍を提唱したことで知られる。「教皇は太陽、皇帝は月」という比喻は、世俗の権力に対する教皇権の優位性を象徴している。なお、アナニ事件でフランス王フィリップ4世に捕らえられたのはボニファティウス8世であり、第1回十字軍を提唱したのはウルバヌス2世である。
問7	答え 4 コーラン	アッラーが預言者ムハンマドに下した啓示をアラビア語で記録した聖典は『コーラン（クルアーン）』である。これは単なる宗教的な教理書にとどまらず、ムスリム（イスラーム教徒）の日常生活や社会秩序を規定する法（シャリーア）の最大の法源として機能している。
問8	答え 1 ブリテン島	5世紀半ば、アングル人、サクソン人、ジュート人などのゲルマン人が北海を渡ってブリテン島に定住した。彼らは先住民であるケルト系のブリトン人を圧迫し、ウェールズやスコットランドなどの周辺部に追いやり、島東南部においてのちに七王国（ヘプターキー）と呼ばれる小国家群を形成した。これがのちのイングランドの起源となった。
問9	答え 2 吟遊詩人	11世紀以降、西ヨーロッパの封建社会が安定すると、城館や宮廷を中心に世俗的な宮廷文化が発達した。南フランスのトルバドール（叙情詩人）やドイツのミンネゼンガー（愛の詩人）などは、騎士の冒険や宮廷風の恋愛をテーマにした叙情詩を歌い、各地の宮廷を巡回した。彼らは総称して吟遊詩人と呼ばれる。
問10	答え 3 ムラービト朝	ベルベル人が11世紀に建国したムラービト朝は、厳格なスンナ派改革運動を背景に成立した。モロッコのマラケシュを都とし、北アフリカからイベリア半島にかけて支配を広げた。また、サハラ交易のルートを確保するため南下し、1076年頃にガーナ王国の首都を攻略して同国を衰退に追い込んだとされる。